



敵

私

しました

さあ

これで最後だ

トドメを
刺してやろう

お願い紅蓮…
こんなこと
もうやめて

今更
なんです？

負けたんですよ
あなたたちは

わかったわ
私たちの負けよ
だから…

...

や、やめろ
アンジエ:

私はどうなっても
いいから

どうか
二人の命
だけは……！

…
いいでしょう

⋮
!?

王女たつての望みだ
同郷のよしみで
叶えて差し上げ
ましよう

：案外その方が
アルテナ国民も
すんなり従うかも
しれないな

ほう...?

...



そんなこと……!

駄目だ
アンジェラ



あなたが従順に
しているからね

約束しましょう



二人を開放して、
お母様の身の安全も
保証して

アンジェラ



では、こちらへ
来てもらおうか

アンジェラ王女



行くな……

アンジェラ……

アンジェラ——!!



さよなら

デュラン

元気だね

そんな……

私たちは
敗北しました

everything was blown away

第一部

※デュ主人公、仲間アン・ホのパーティ。
紅アン+デュラアン。
ホークアイとは普通の仲間です。

あれから

世界は超神となった
竜帝の支配下に
置かれることにな
りました

竜帝は手始めに
アルテナを拠点とし
母、理の女王を后に迎え
順繰りに他の国を
征圧していきました

マナ
魔法も女神のご加護も
なくした人間たちは
いとも簡単に敗北し
街は魔物に蹂躪され、

フォルセナの英雄王様や、
他の国のえらい人たちがみな
謀殺されていきました

かつてのアルテナ王国は
過酷な北の大地を捨て
フォルセナへ都を移し、
「神聖アルテナ帝国」と
名前を変えました

（神聖、だなんておかしくて
笑っちゃうわよね
名付けたのは多分紅蓮よ
あいつ高らかに宣言してたもの
超神の住むお城もこの近くに
作ってるらしいけど
興味がないからよく知らないわ）

私のかつての仲間二人は
都から遥か遠くの土地に
追放されたそうです

それでも二人がどこかで
平穏無事に暮らしている…
そう思うだけで私は救われる
ようでした

今の私に出来ることは
人々の平穏を祈ること
だけです

母はお飾りの后ですが
一応丁寧に扱われ、今は
お城の片隅でひっそりと
暮らしています

母はずっと操られたままぼんやりして
いますから、この惨状を知りません
私は母への魔法を紅蓮が解かずにい
てくれていることに感謝しています
きつと意識を取り戻したら、母の心は
壊れてしまったでしょうから…

壊れるのは

私一人で充分です

アンジェラ王女

行きま
しょうか

紅蓮の魔導師

私の夫です

今この都を
実質支配して
いるのは、
この男……

竜帝が神になった後、彼がアルテナの帝王になる、そのために私を手元に置くことに決めたようでした

国民の反発を減らし己の子孫に正統な王族の血を分け与えるためでしょう

国を守れず世界も救えずそれでも私はまだのうのうと生きていました

……だって、母もアルテナの皆も他の国の人々も魔物の支配するこの世界で、まだ懸命に生きているのだから……私だけ一人楽になるわけにはいかないでしょう？

お疲れですか？

アンジェラ王女

……いいえ

祝言の準備でお忙しいでしょう

……大抵のことはお付きの皆がやってくれてるから

ふ

周りの者に任せず

あなたの好きに選んで頂いていいのですよ？

結婚式というものは女性にとって一世一代の晴れ舞台なのだと聞いておりますが

……私にとっては別に大したことじゃない

……あんたとの結婚式なんて

何の興味も湧かないもの

……あなたらしい



それでこそ

アルテナの王女
アンジェラだな

簡単に

服従されては

つまらない

いつまでも
私に抵抗して

いや、
やめて

牙を
剥くがいい

その方が
手懐け
甲斐がある
というもの

はなとも、



いつまでも

いや、!!

ハハ、私たちは
夫婦になるの
ですよ?

交わるくらい
するでしょう

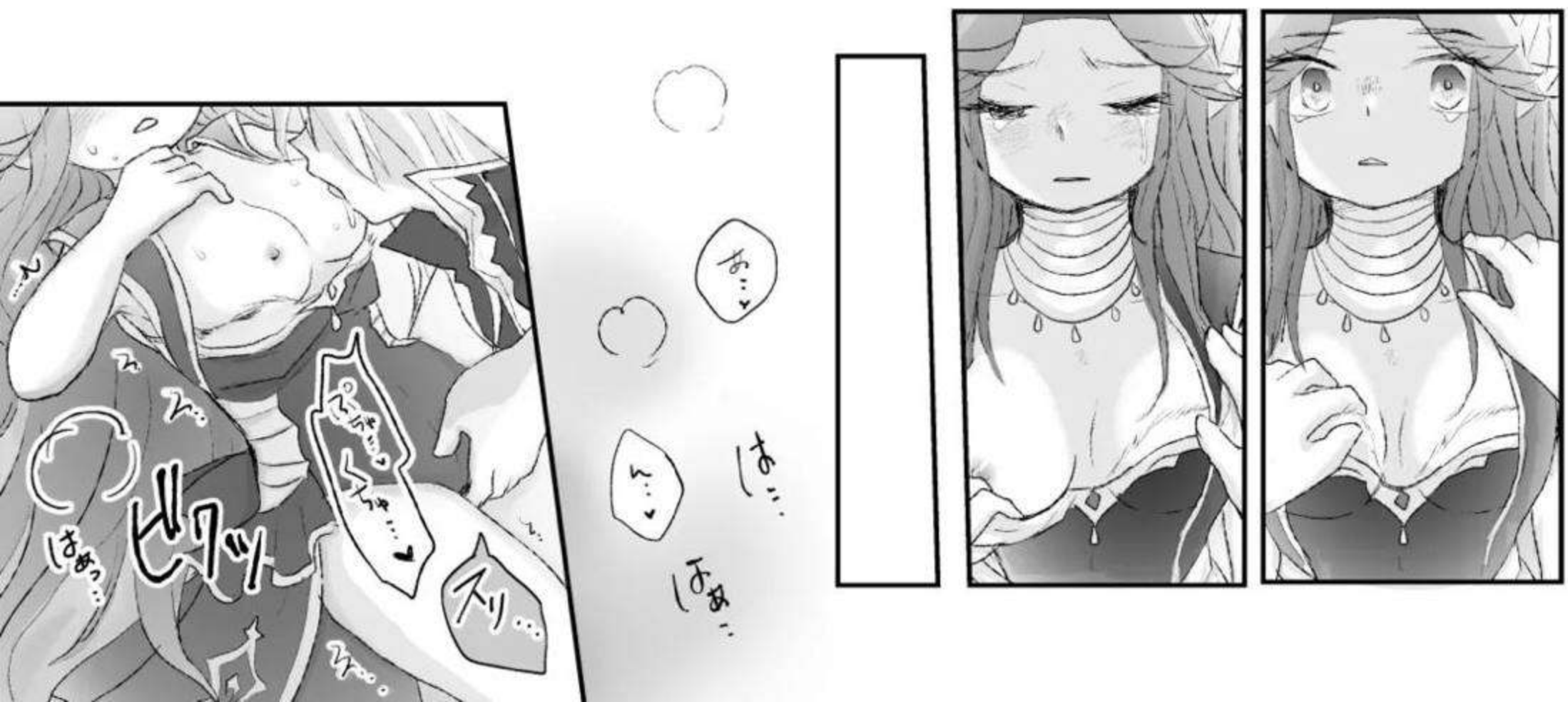
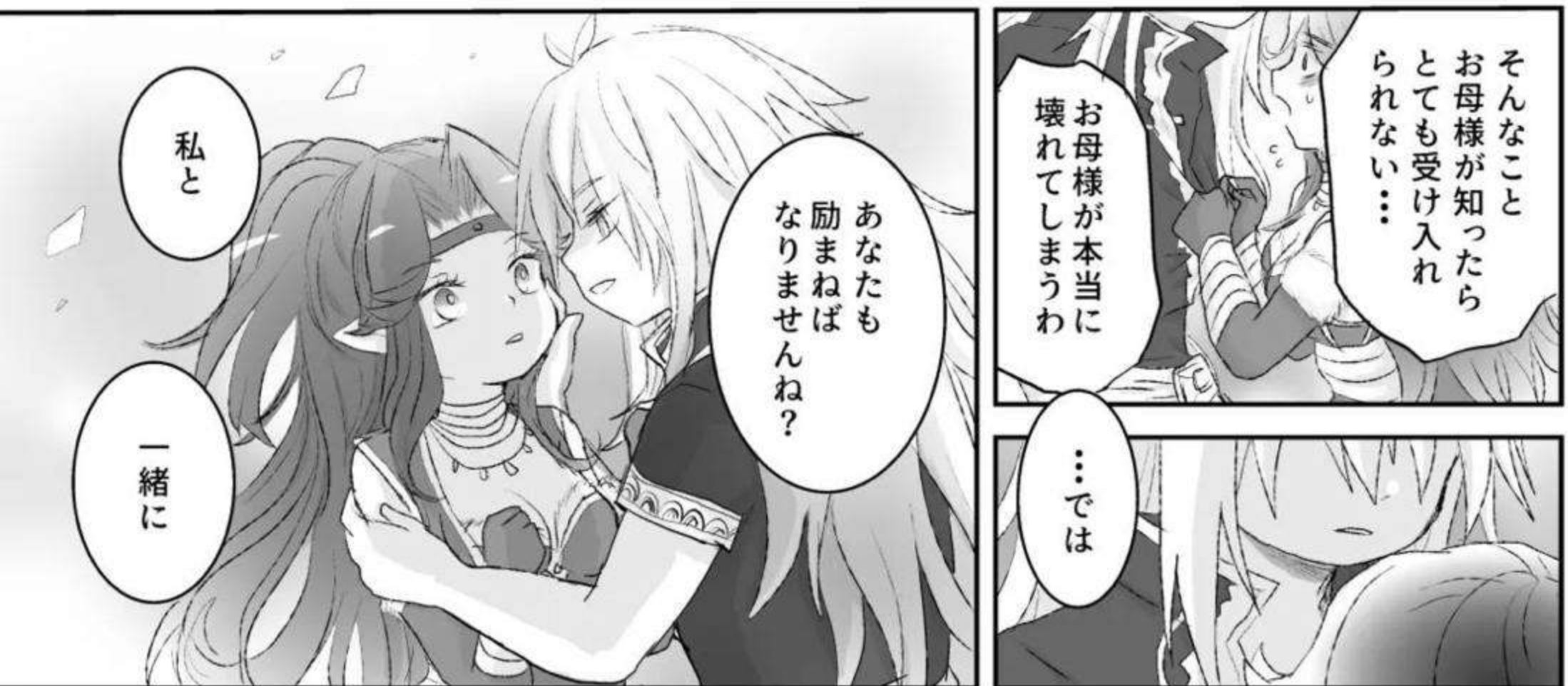


私を楽しませて
みせろ

…あなたには
私の后として

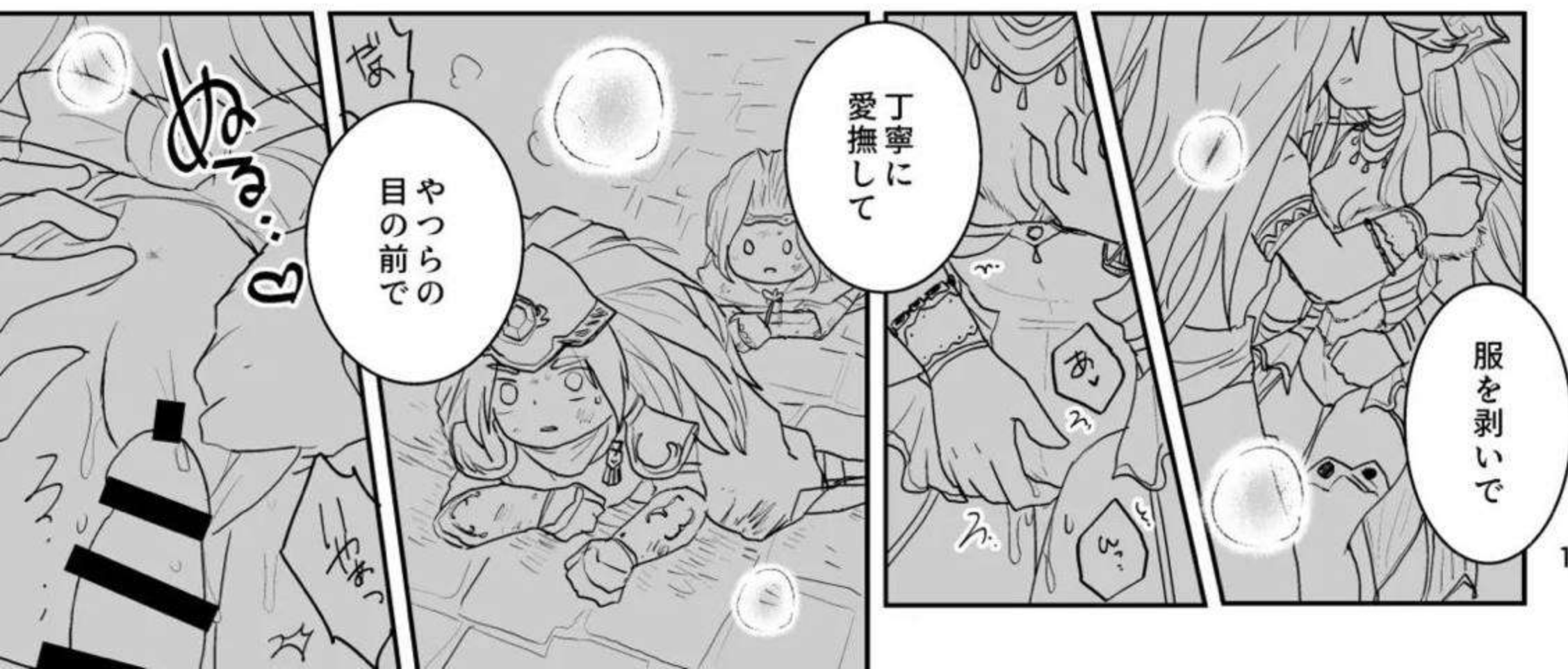
元気な子供を

産んで
もらわないと

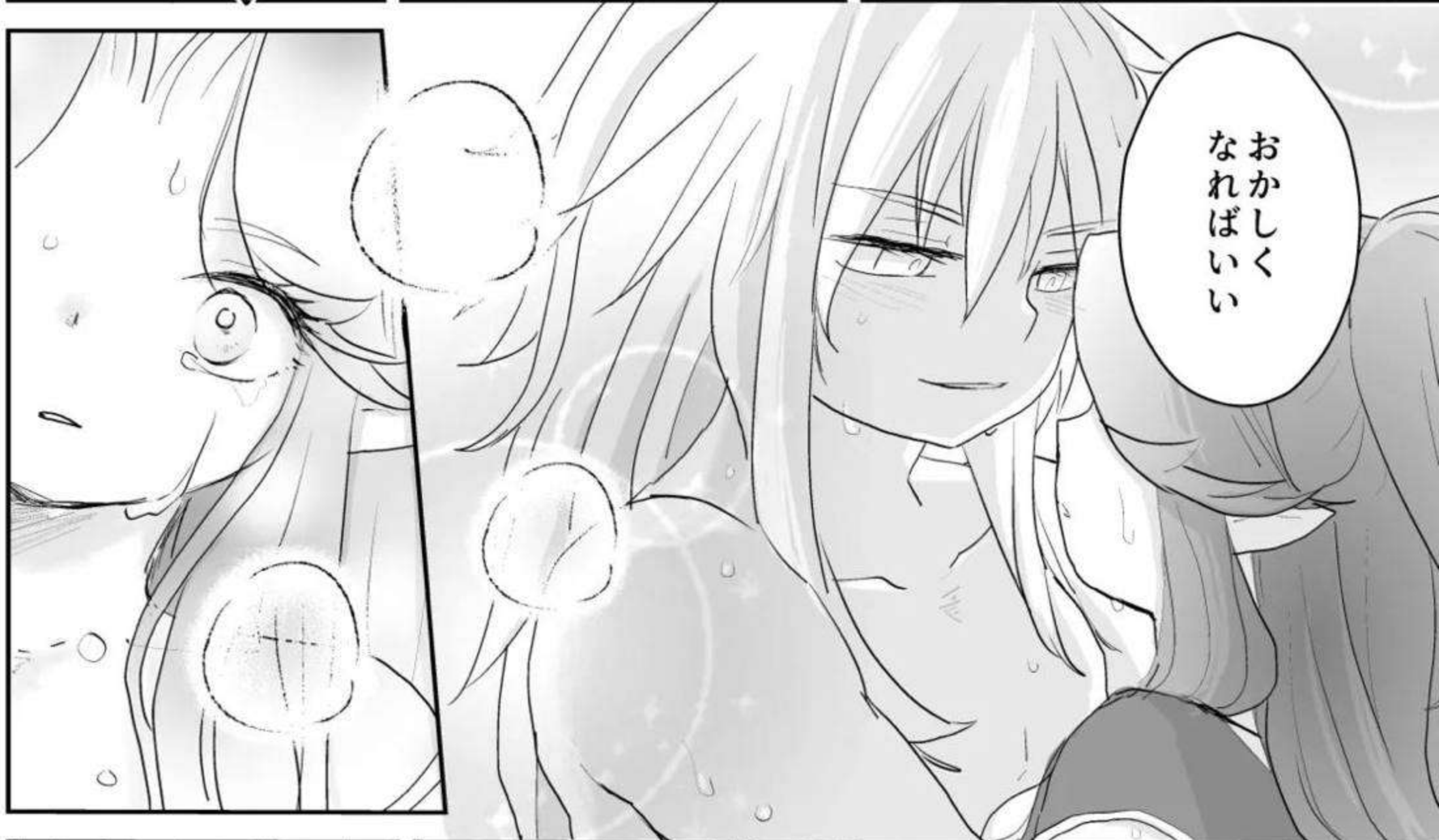


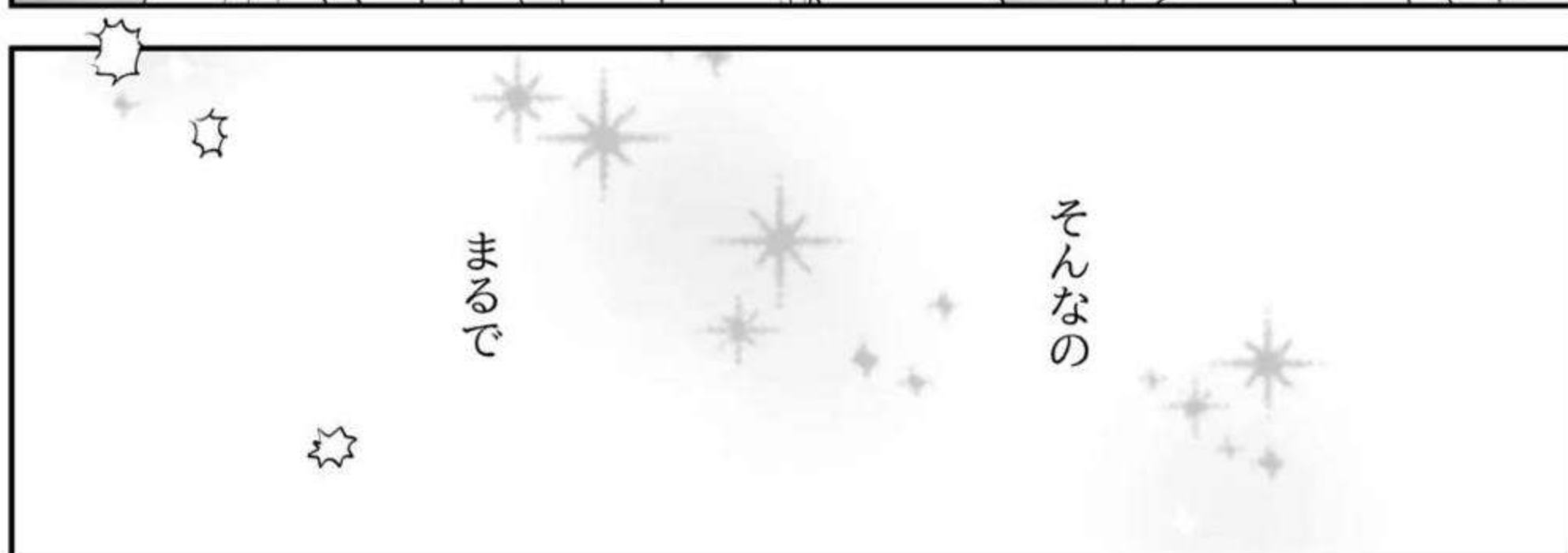
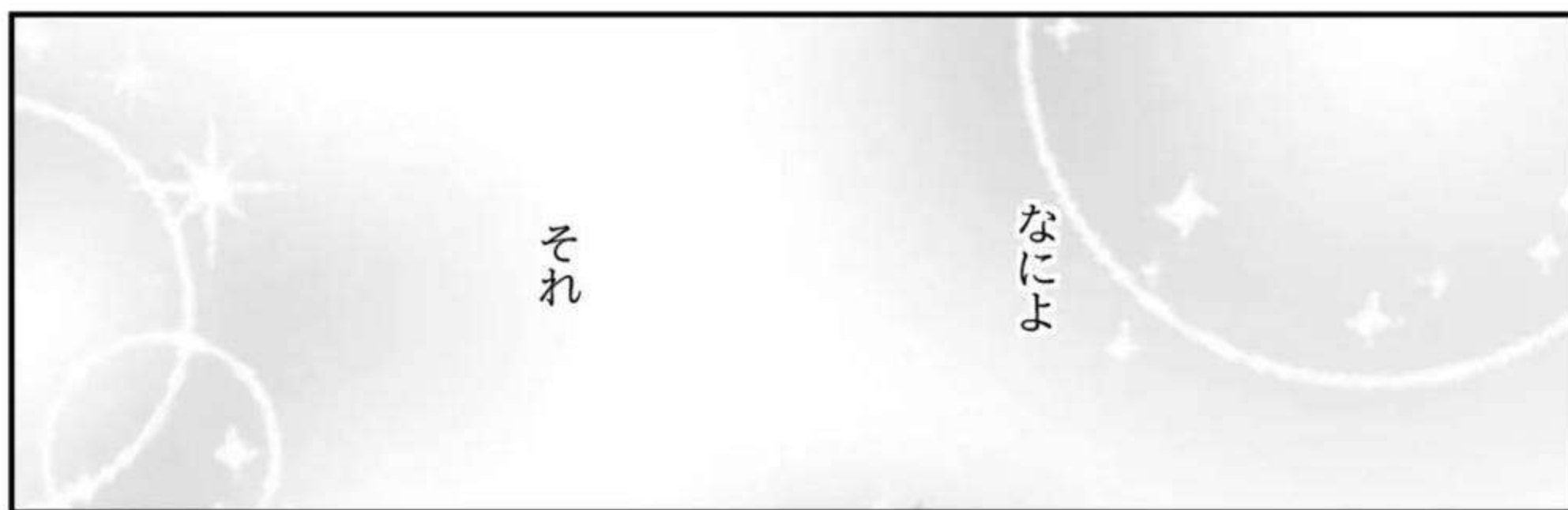














愛じゃないの





私
敗北
たちは
しました





第2部





デュランよ…

英雄王様！

逃げるのだ
わしの二の舞に
なつてはならぬ

陛下駄目です
一緒に…！

聞け
デュラン



わしはもう
お前の側に
いてやれぬ…

今は引き
態勢を立て直せ
なんとしてでも
お前の想い人を
取り戻すのだ

わしにはそれが
ついぞ
叶わなんだ…

あの日ヴァルダを…
理の女王の手を
放してしまったこと
あれからずっと
後悔しておる

お前にそんな
人生は送って
欲しくない

王女は
お前が来るのを
待っている

へいか…！

だから
お前はゆかねば
ならぬ

王女を…
わしとヴァルダの
娘をどうか
救い出してくれ

頼んだぞ
我が友ロキの子
デュランよ…

陛下…

陛下！！



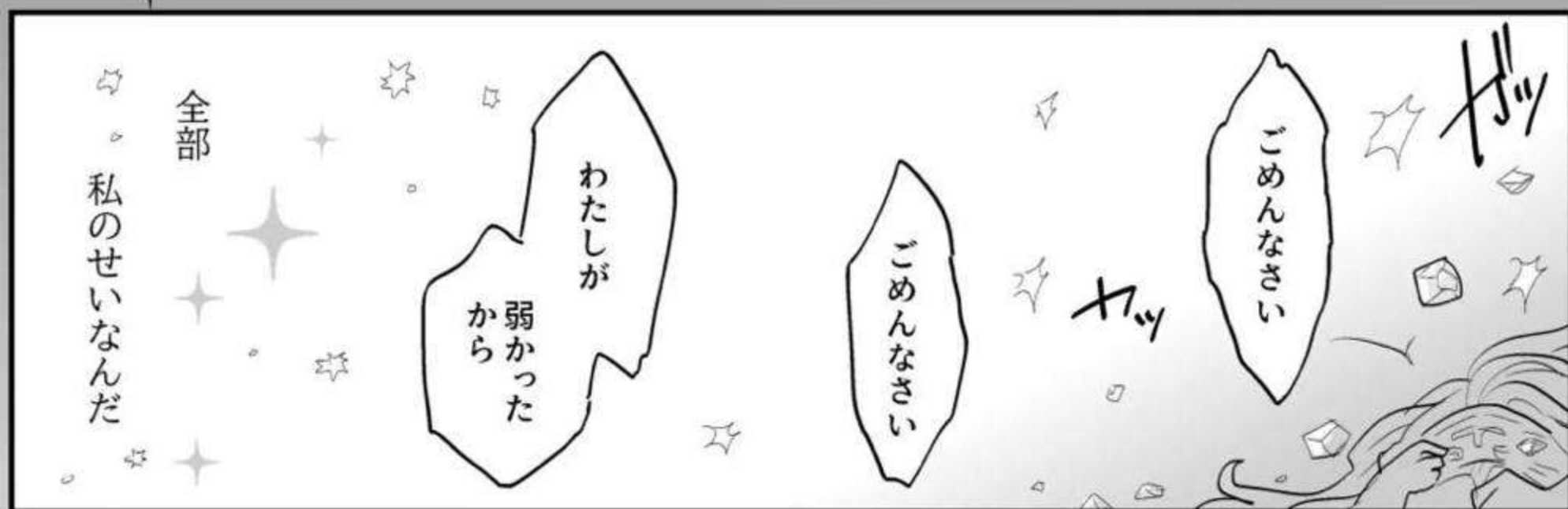


じゃあ

行こうか



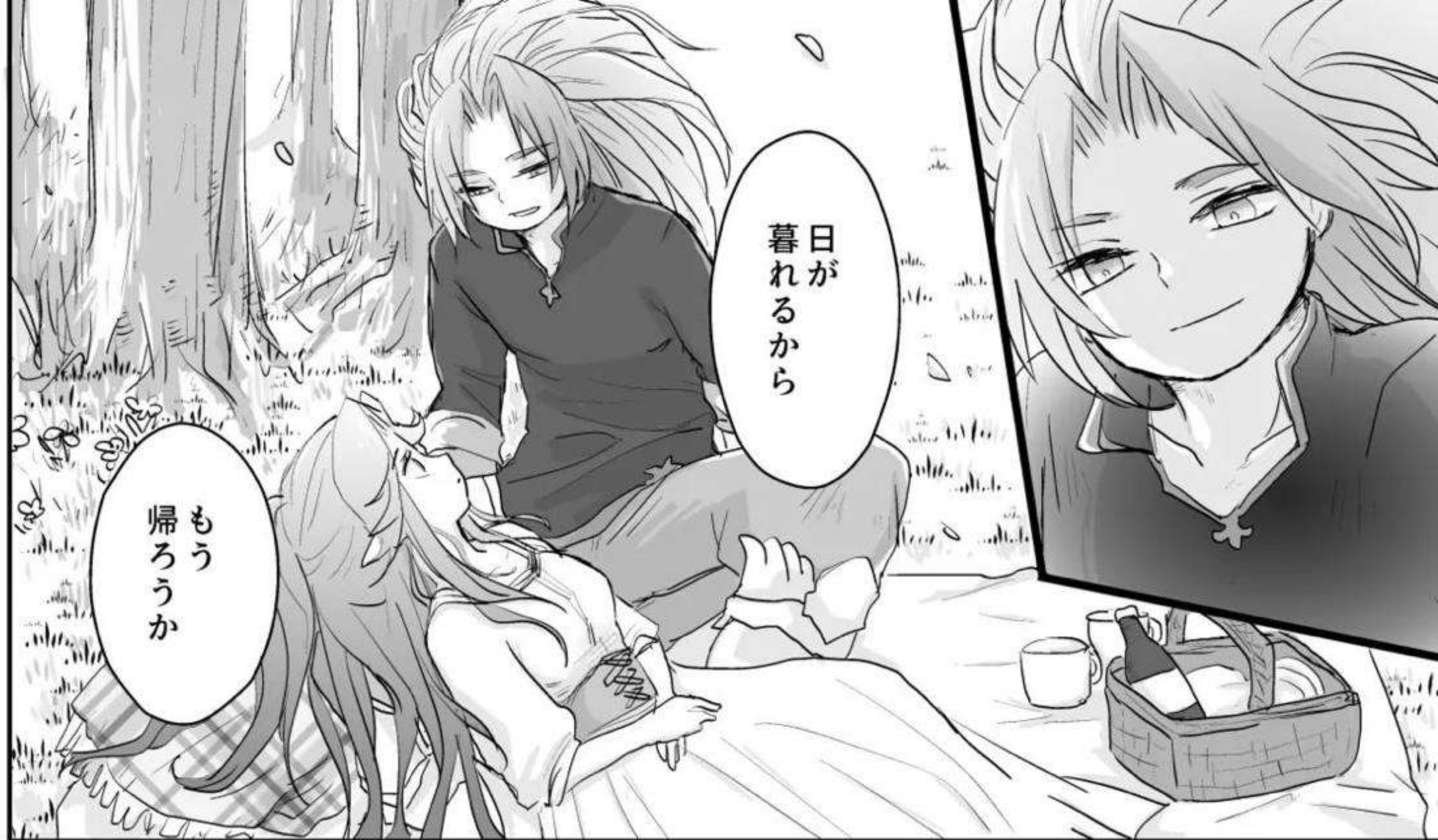
フェアリー

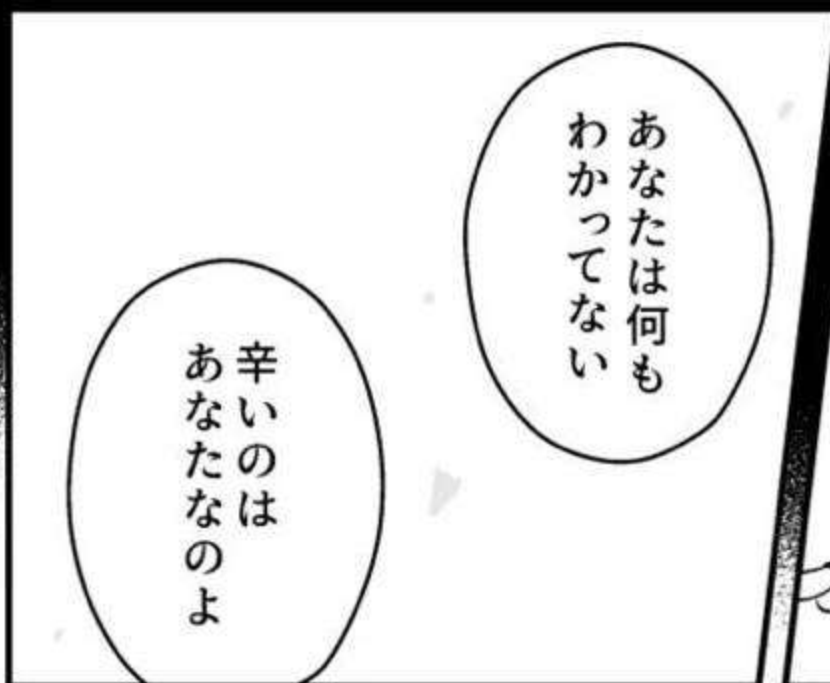


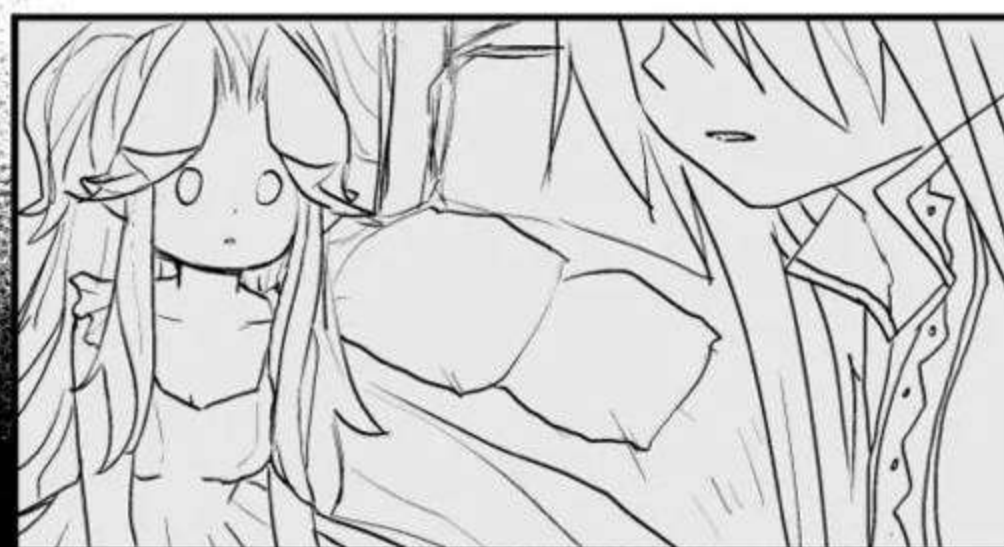
受け入れて
くれるのは



私の
弱さを











どうして来たの



どろどろ

今頃



今更遅いのよ



もう

手遅れよ



私はもう

あの人のものに
されちゃったのに



変わって
しまった...

私の体
なにもかも



あの日々に
変えられて
しまった



あの頃みたいに
笑いあえる日は
もう二度と来ない



ああ
デュランが
行ってしまう



アンジェラ
さま……

いけません

アンジェラ
さま……っ……

難を逃れたデユランたちは
各地で密かに協力者を集め
竜帝を討ち倒し

以来魔物の力も弱まり
世界はようやく
平和を取り戻しつつ
ありました

紅蓮の魔導師は
大した抵抗もなく
あつけないもの
だったそうで

彼は永らく竜帝に
自らの命を分け
与えていたために
寿命を著しく縮め

勇者が来る頃には既に
自慢の魔力もほとんど
残っておらず、体も
ボロボロになっていた
のだそうです

私には彼が魅力的に
見えるような
魔法をかけられて
いたのだと、
呪いの類に詳しい
お医者様に
聞きました

そのせいだったの
かしら
彼がいつの間にか
痩せ細り、弱り
きつていたことに
私が気が付くことは
ありませんでした

助け出された
私と母は今

名前を取り戻した
ここフォルセナ国の
離れのお屋敷に
身を寄せています

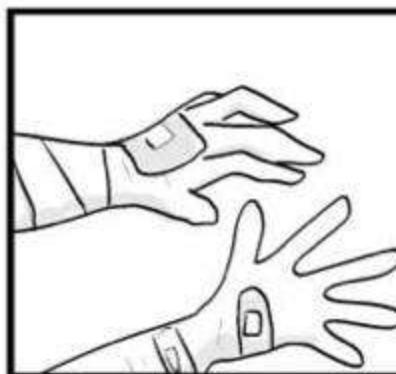
人の身で竜の子を
孕むのは大変な負担
だったようで

母のお腹の子は
駄目だったと
何日も経ってから
聞かされました

おもちゃにされた
母は、今も床に
臥せったままです

悪の野望は打ち砕かれ
世界が救われたことに
人々は歓喜し、世間は
希望と復興の輝きに
満ちあふれていました

……けれど私は今も
その喜びと喧噪に
身を浸せずいました



突然
自由を奪われて
いつばいに満たされて

その次は
突然いなくなつて
もう自由なのだと
言われて

残つたのは
からっぽになった
私だけ

私の意思はそこに
ひとつもなく

なにも
わからないまま

……あなたのことも
なにも知らないまま



……ねえ
あなたは
本当は何を
考えていたの？

……紅蓮



それ
痛むかい？



ちよつと
だけ

でももう
平気よ

もぐ

……
そっか





アンジェラ…

でもそれは
君にはなんの
責任も…
だって



…私はそういうの
イヤなの

これ以上
デュランが
私のことで
苦しむ姿は
みたくないもの



でも起きたことは
なかったことには
出来ないわ…

あの頃みたい
には、もう
いられないの



…ありがとう
ホーク



君は、オレたちを
助けるために
酷い目に…！

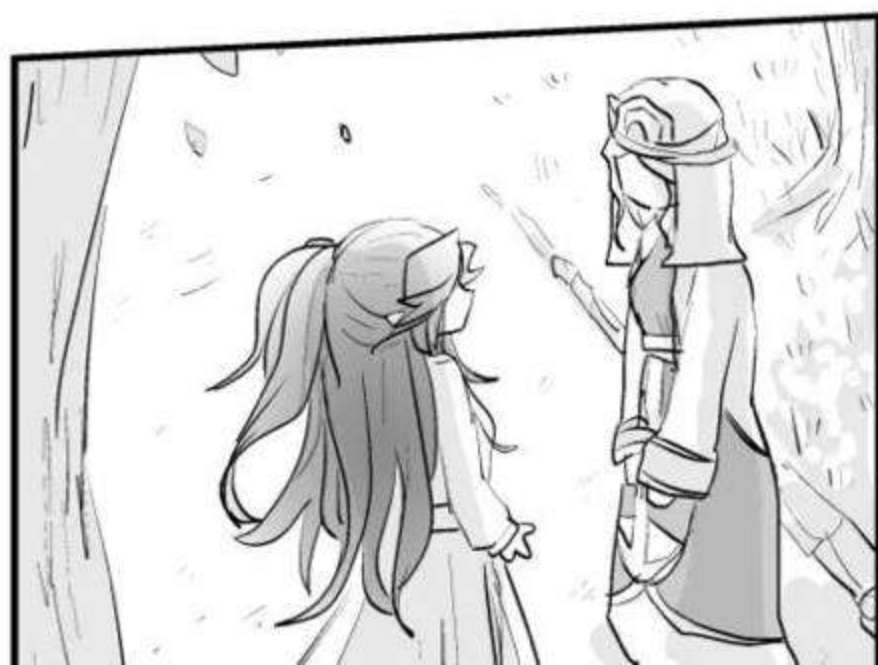


私はこれでいいの
充分良くして貰ってるわ
これ以上を望んだら
ばちが当たりそう

私とデュランは
かつての旅の仲間
それだけ

それだけで
もういいの

一時でも
別の人と夫婦で
あったのは、
変えようのない
事実だから







私達妖精は
マナの樹の種…
次のマナの樹に
生まれ変わるの…

…!?



いいやだ、
いやだよ
そんなの…!!

…大丈夫よ
デュラン



デュラン…
私を埋めて…

…!?



そう

新しい
女神に

埋めたら
お水をかけて
少しだけ
待っていてね

途方もなく
長い冬だって
いつかは終わる
春が芽吹く



そうしたら
みんなに魔法の力が
戻るよう私から
マナを送るわ

まだ芽吹いた
ばかりだから
ほんの少しだけ、
だけれど…

それでまた
デュラン達は
ちよつとだけ
頑張れる

その間にどうか
世界を救って…

そして全てが
終わったら
私を聖域に還して
欲しいの…



フェアリー…

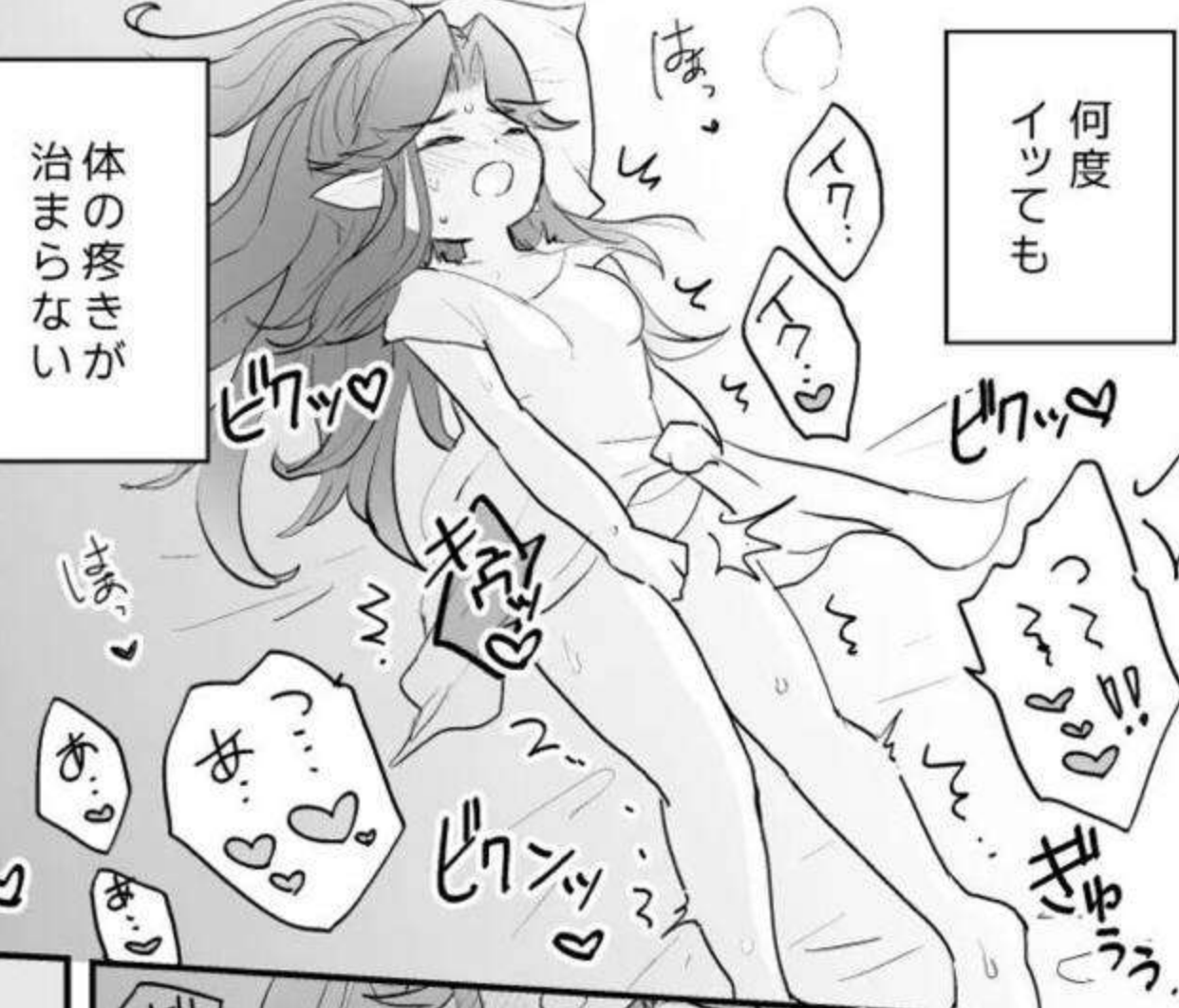
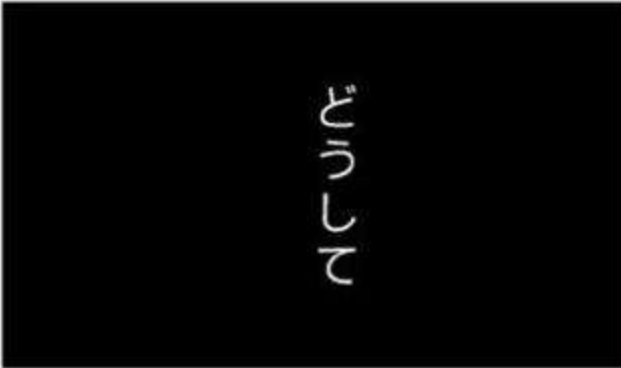
大丈夫
デュラン達なら
出来るわ…

ずっと見てきた
私にはわかるの

みんな
がんばって

わたしも

がんばるからね



これは
罰なんだ

なつちや駄目
だったのに

気持ち良
くなったから

快楽に
溺れたから

だって、私
拒否しなかった
じゃない

私は

あいつのこと...

...わからない

う...う...

ぐす...

...だけど
こんな私が
デユランの側に
いていいはずない

なんて

浅ましくて
醜い私

クッ

トッ
ト...

...よし

ハ
ン

任務の帰りに
美味しいスイーツ
教えて貰ったから
寄った、だけ

...
言い訳
よし

これなら別に
おかしくは
ないだろ
友人として

あんな
怯えた顔を
あいつにさせて

まるで
オレの方が
悪人みたいだ

コンコン
アンジェラ様

!

今日は
うまくやろう

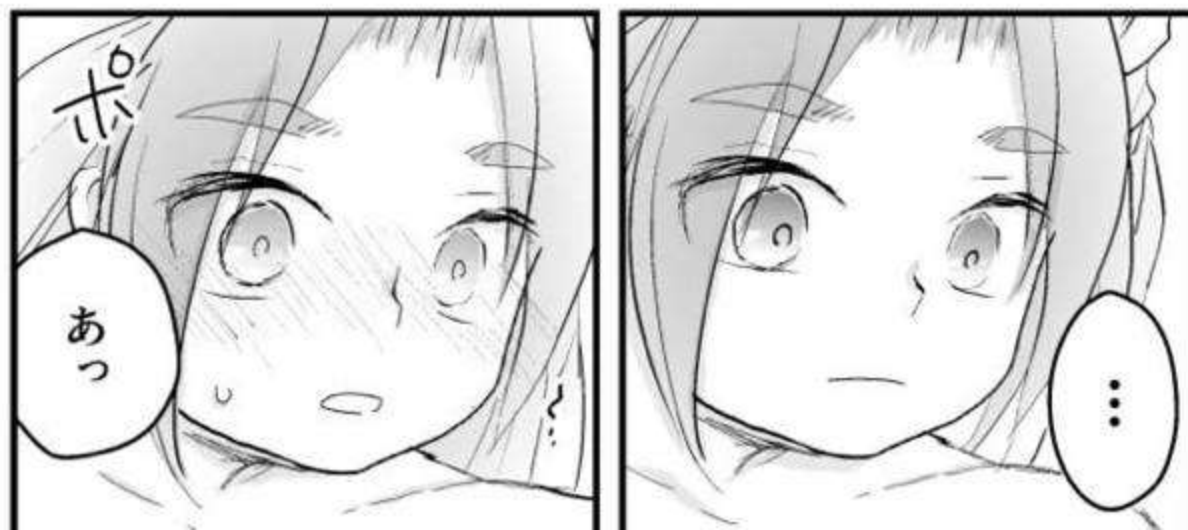
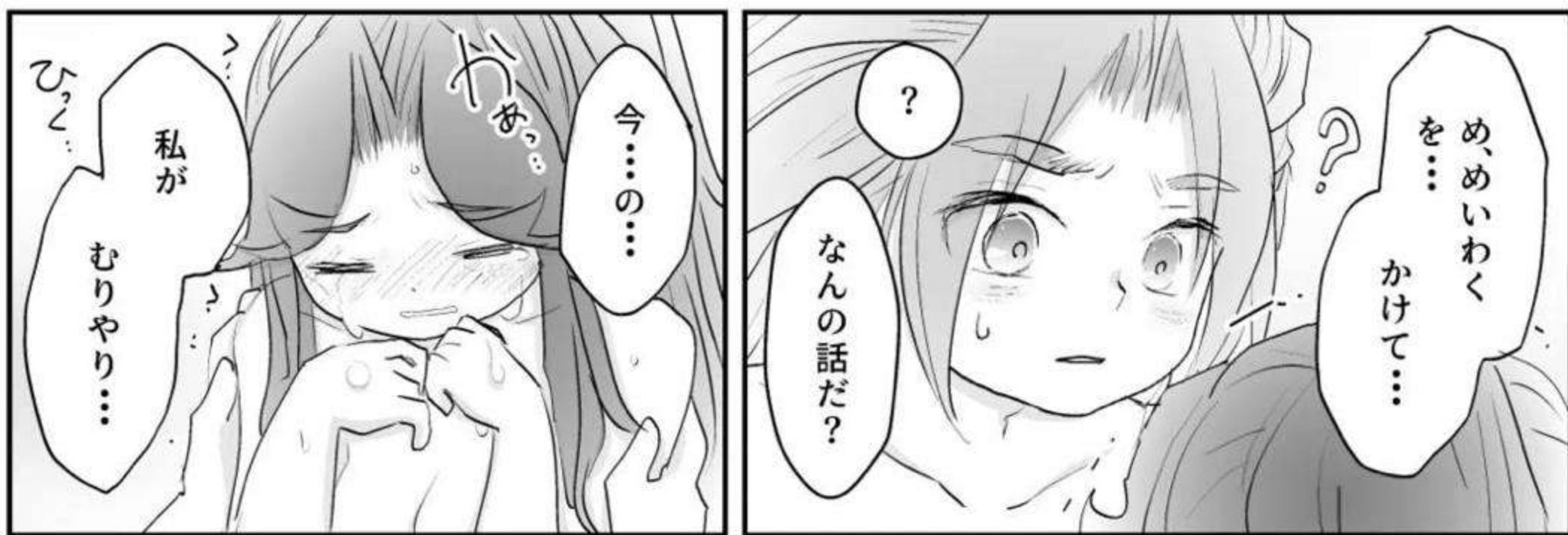
怖がらせない
ように
傷つけない
ように

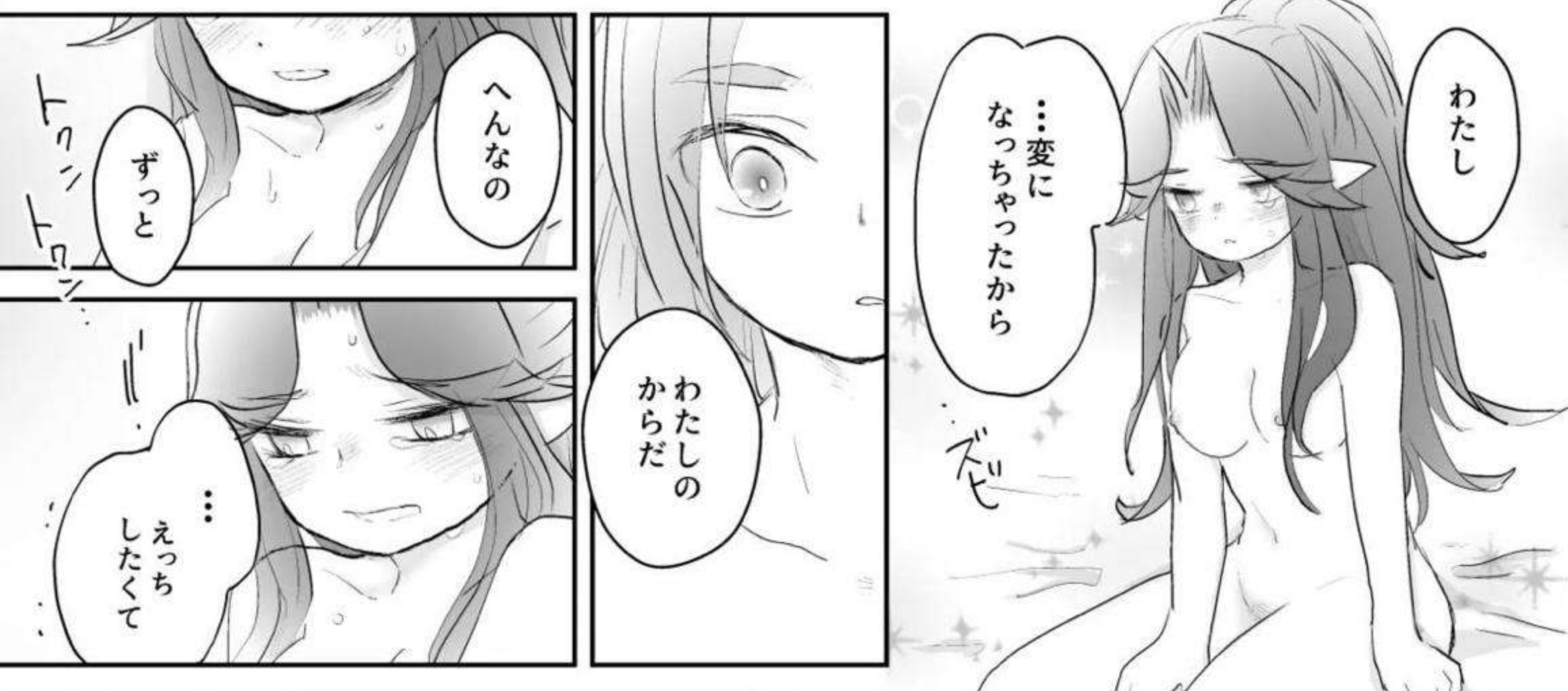
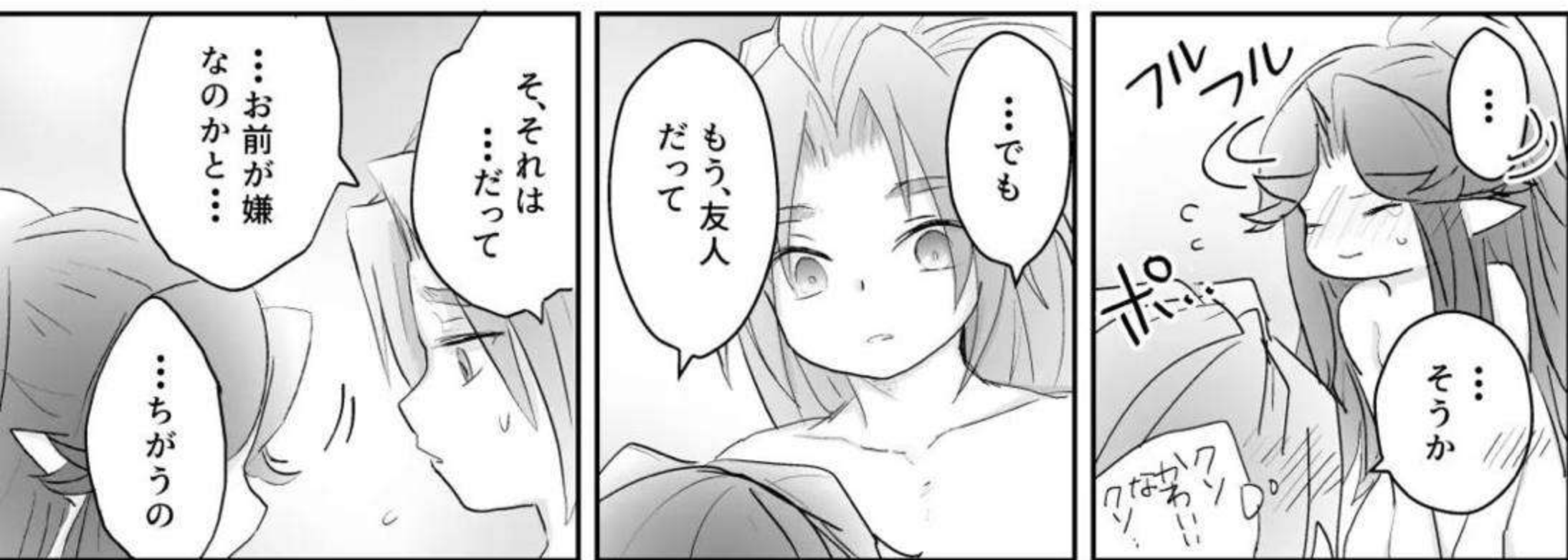
普通の
友人として















でも

でも……!

でも
なんだよ



わたし……
あなたじゃない人と
……夫婦だったのよ

それは
……でも

もう終わった
ことだろ
過去のことだ



……
わたし
わからないの

ガッガッ



あれは
本当に

魔法に
かかってた
からなの?



自分でも
よく
わからないの

私、
私が、もし

自ら……
望んで……

……
そうだと
したら

今更
どんな顔して
あなたと
いれればいいの?

だって私……
まだ覚えてるの

あのとき私は

確かに



ごめんなさい
……こんなこと
話したくない

デュランをもう
傷つけたくない……



……人が、沢山死んで
アルテナもなくなって、
お母様も守れなくて
世界も救えなくて

……私、なにも
出来なかった
お城でただ座って
待ってただけ

なんの役目も
果たせなかったのに、
とても皆の仲間だ
なんて言えない

そんな私が
全部忘れて
笑っていて
いいはずない

気持ちよくなって
いいわけない



……なのに



あなたは私に
優しくて

あなたの優しさに
つけこんで、また
愛されようなんて

そんな
虫のいい話



……そう、
頭では理解
出来てるのに

あなたを
見たら

嬉しくて

ふれたく
なって

……ぎゅって
して
欲しくて



あなたが
また

私を抱いて
くれたらって
そんな甘いこと
ばかり考えて

私……
そんな醜いこと
思う自分が
だいきら……



お前が

今

ここに

いてくれるなら



もう

なんだって
いいよ



過去に、
なにが
あったって

誰と何して
たって

お前が今
居たいと思う場所が
オレの隣なのなら

もう
それでいいよ

あのクソ野郎が
お前にどんな
跡を残してたと



あいつは死んだ

もうここには
いねえ

だから
オレの勝ちだ

お前と最期まで
一緒に歩いて
いけるのは

オレの方だ

ざまあみろ
ってんだよ



デュランが
そんなこと
考えてたなんて

そりゃあ…

聖騎士だったって
普通の人間
なんで…

イラッ
モヤ
シメ

…あの日、世界を
救えなかったのは
オレも同じだろ

別にお前だけの
せいじゃねえって
ことは
忘れないでくれよ



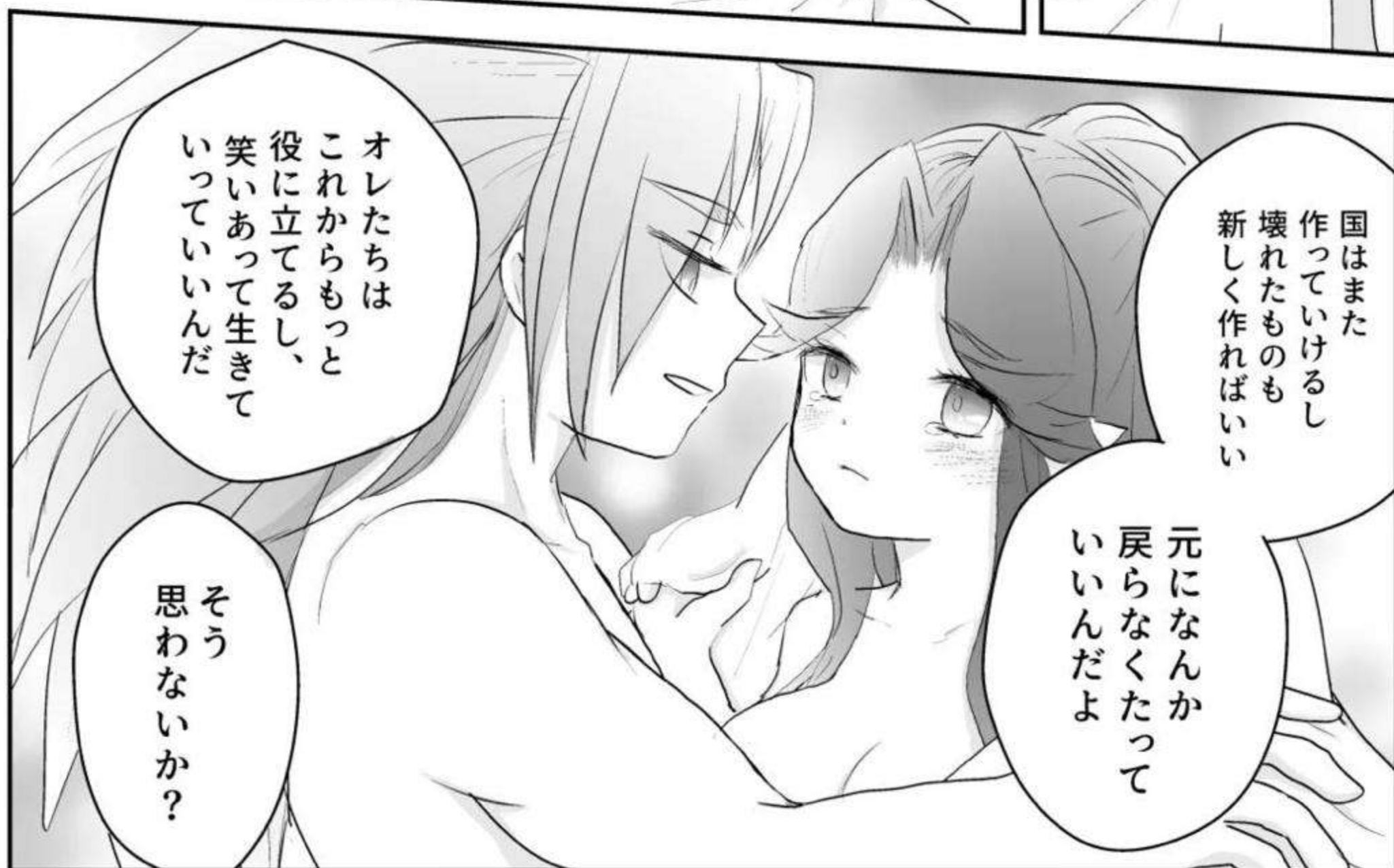
…どれだけ
悔いても

時間は戻せねえし
起きちまったことは
もう変えられねえ

確かにそうだ

…でも

オレたちは
まだ生きてる



国はまた
作っていけるし
壊れたものも
新しく作ればいい

元になんか
戻らなくなつて
いいんだよ

オレたちは
これからもっと
役に立てるし、
笑いあって生きて
いっていいんだ

そう
思わないか？



…私にも
また出来る
かしら

出来るさ
自分の事
誰だと
思ってたんだよ

お前はあの
アンジェラ
なんだぞ？

だから
もう
元気出せよ

自分を
責めるなよ



sonde

もうオレに
しとけよ

フフ

お前みたいなの
こんがらがった
めんどくせえやつと
一緒にいられるのは

広い世の中探したって
オレくらいな
もんだと思うぜ…



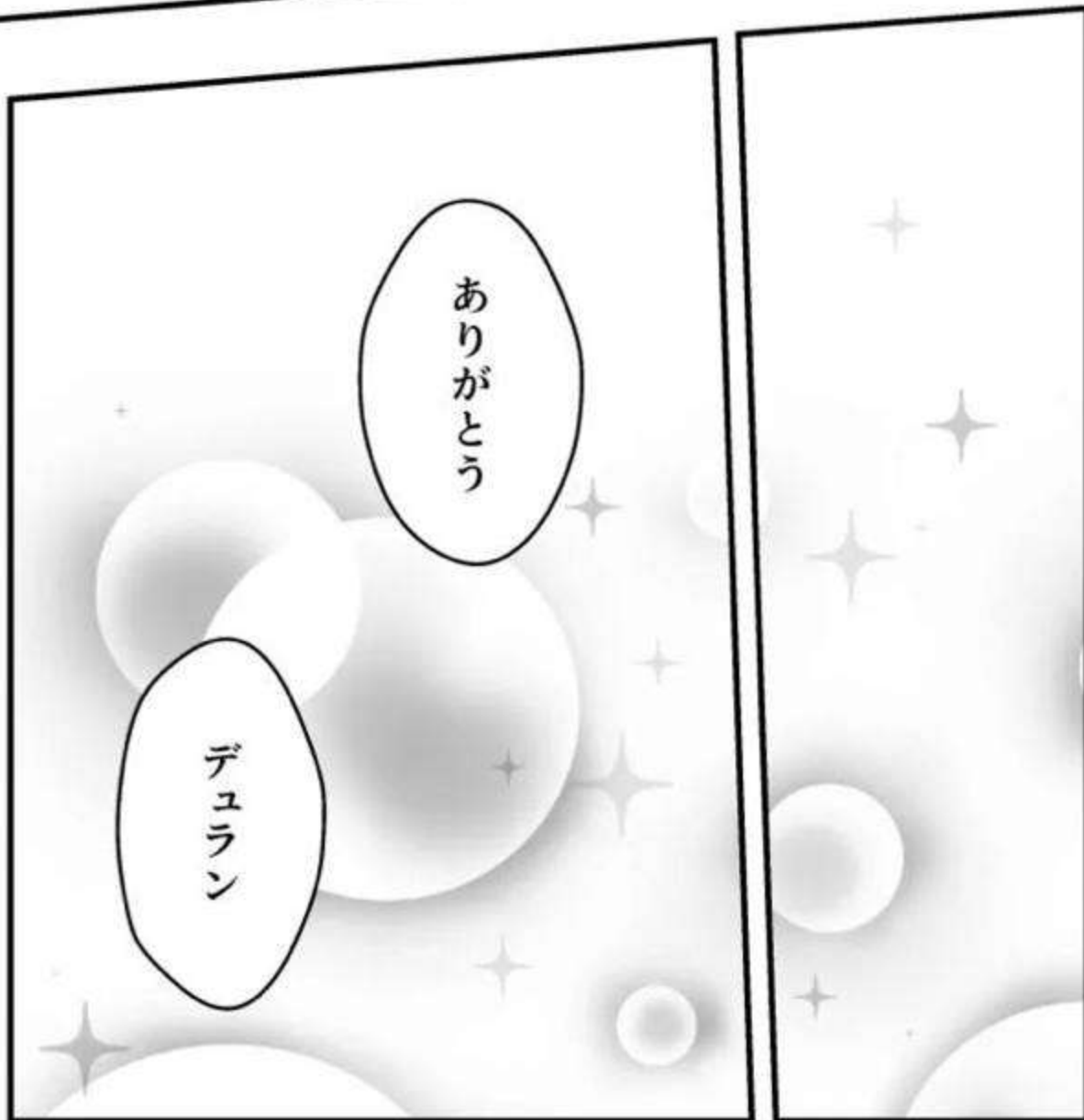
めんどく
せえやつ
だ
わね

や?



オレは
お前の

セイヴァー
だからな



ありがとう

デュラン



出て
こないでよ

今更
どうして
来るのよ



あなたなの

紅蓮



…
なによ
それ



遅くなりまして



来るのが



あんななんか

すみません

私は

もう



あなたも
私も

…なんでよ



…でももう
これが最後です

もう
行かなくては



あなたに

お会いしたかった
もので

…なんで
来たの

…フフ



あんなに
私の気持ちは
わからないわ

…



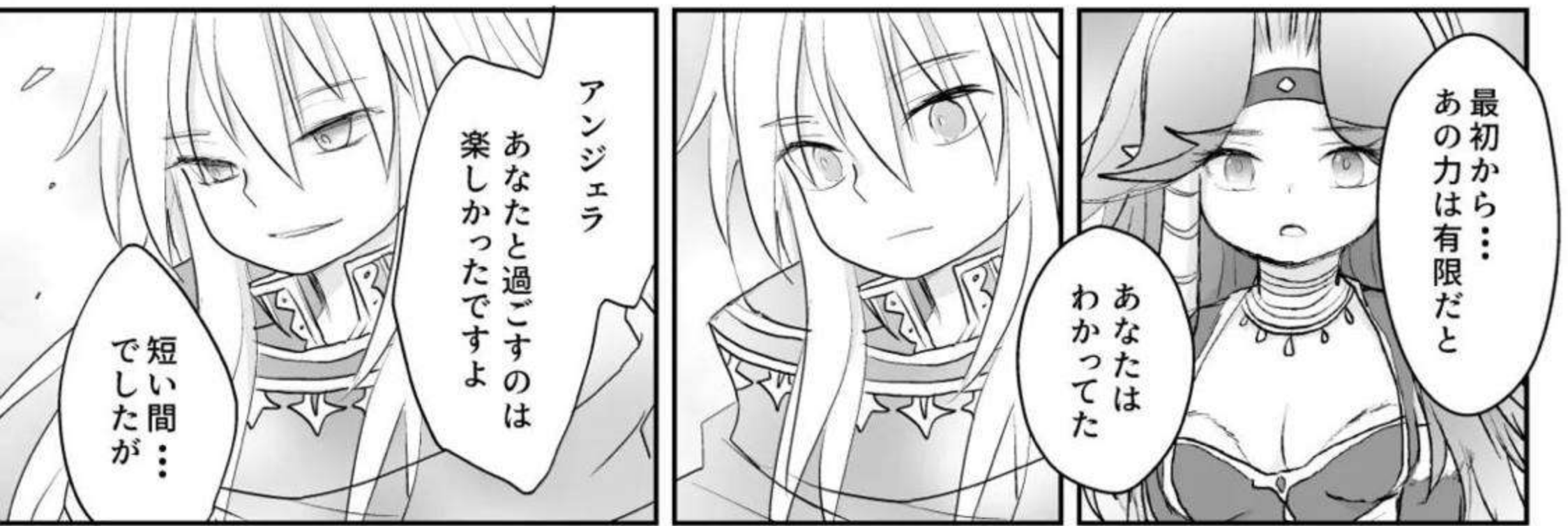
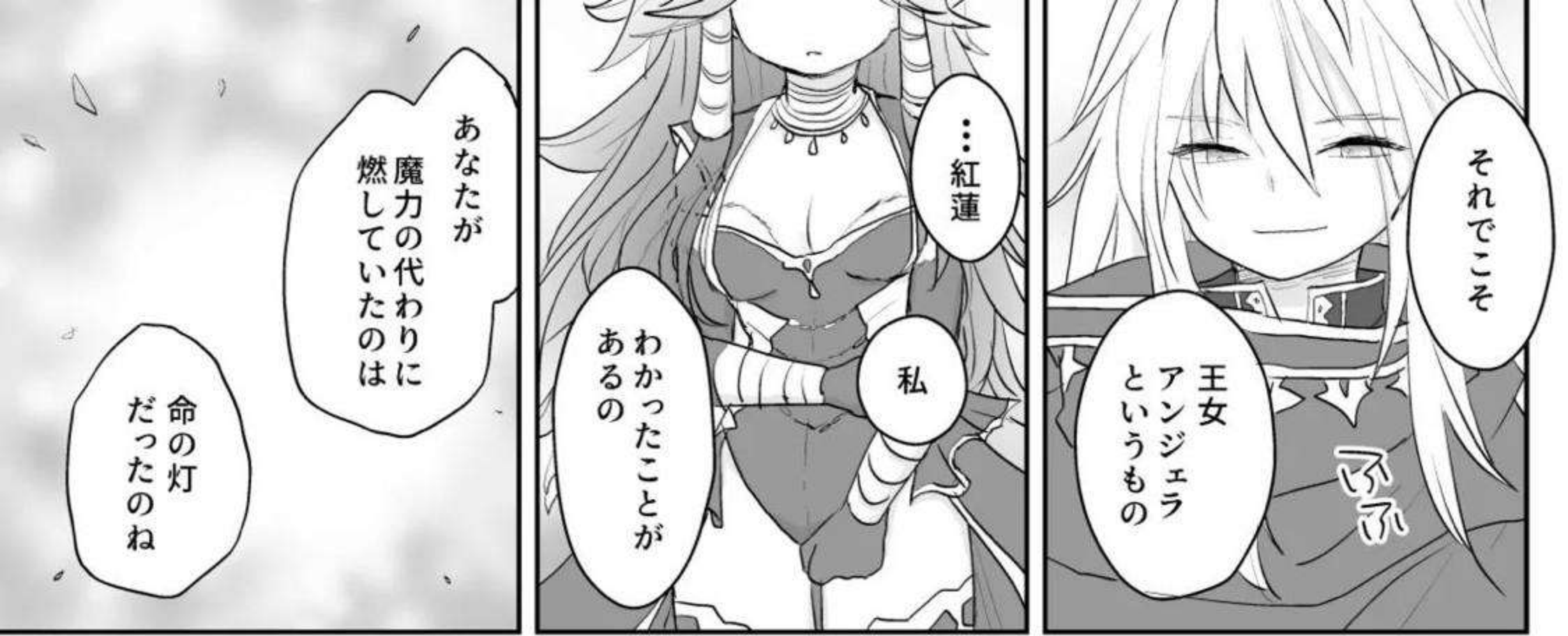
あなたを
蝕んだのは
私なのに

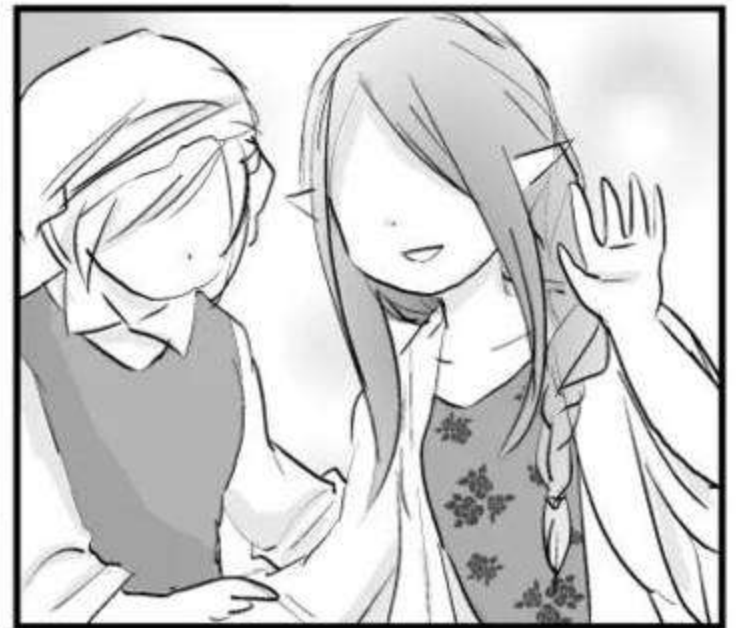


…名残惜しいと
思ってたさるの
ですか？

今来たばかり
なのに…
もう少し位









ずっと疑問に思ってたことがありました。「薄い本で囚われたヒロインが快楽堕ちさせられた後その子はどうなるの？」それともうひとつ、一年半くらい前にやったライブアライブ(3DS)(古い作品だから許して)、この子はなんでこうなったんだろう。こういう目にあった女の子はもう死ぬしかないのか？…なんで？(汗)と思って自分でも描いてみたい、とこの話を考え始めました。

序盤はもっと酷い話を想定していたんですけど描いてるうちに可哀想だな…ってしんどくなったので徐々に調節して最終的にここに落ち着きました。ハアつれえなーと思いつつ前半は想定通り出来上がったわけですが、問題は後半…自分で話を考えてみて初めてわかったわけです。「こ、これは解決しねえ…」ということが…だってあんなことがあって簡単に忘れて幸せになれる？世界は平和になりました私達も元通り！なんてなる？？別の男にヤラレまくってたことがわかって(しかも結構ラブ寄りに)その女をヒーローは愛せるか…？？それで気づいたわけです、何故薄い本のその先を誰も描かないのか、何故アリシアがそうになったのか(いやまああの子はこれとまたちょっと違うんだけど)…ある意味そこで女の子は人生が詰んでしまう。

とはいえ、これは創作ですから、それで終わらせるつもりはなく、なにがなんでもアンちゃんを救うという使命を持って私はやってるわけなのでハ？人生が詰んだ？詰んだとか言われても女の子はその先をこれからも生きていかなきゃいけないんだよ！！！！ということで色々、作ってはこりゃ駄目だを繰り返して、なんとか形にしました。アンちゃんもデュも救われて欲しいけどそれなりに納得できる話にしたい、酷いことはあったけど酷いことだけでは終わらせたくない、という感じでなんとか…後半の話はなかなかうまくまとまらなくて前半を描いてから半年くらい寝かせていました。ちょっと辻褄とか、なんとか頑張ったものの、ご都合展開というか、アレかもしれませんがご容赦ください…悪役に堕とされるヒロイン+救出された後の話はずっとやってみたかったテーマだったので苦労したけども形にするのは楽しかったです。心を操られるというのは、操られている本人はそのときおそらく本当にそう思って行動しているし、魔法が解けたあともその記憶が残ってたりしたら、その後もめっちゃくちゃ恐ろしいのではないかと思います。今行おうと思ってることは自分が選んだことなのか、それともまた他者に選ばされたことなのか…。本当の自分の意志だとどう区別がつくのでしょうか…。(あ、でもお母様は記憶一切なさそうだったね…)

紅蓮は、アンジェラからしたらわけが分からない人だったろうなと思います。正義の味方からは理解できないから悪役なのだろう、というか。紅蓮からもアンジェラには弱いところは絶対に見せなかったんじゃないかなって。役に立たないから禁呪の生贄にしようとしたのは事実だし、フォルセナを攻めたのもだし、彼の行動はあきらか悪です。この話の紅蓮がアンジェラにしたことは野心からでもあるけど、ラブもなかったわけじゃないだろう、みたいな…トロフィーとして価値があるというのはそうなんだけど、多分、魔法が使えなかった頃から気になる存在だったんじゃない？最終決戦でアンジェラのことを生かそうとしてたし…そのときのアンジェラは魔法が使えるという、彼からすると序盤より価値は上がっている。あのときの紅蓮、健全なゲームなのでフワツとした言い方してるけど、ありゃ絶対嫁に迎えたと思うんだよね自分が勝った暁には…

彼はいつも一方的に従わせ一方的に愛するだけだったのは、アンジェラから愛が返ってくるはずがない、という思いもありそうで、自分が悪いことしている自覚がある悪役なんだろうなと思う。一方的なコミュニケーションでしか触れられなくて器用でもなさそうで。言葉と力だけでもアンジェラを陥落させられたろうけど、あえて淫紋で縛り付けるのは自分を信用してないというか自信のなさがそうさせそうだな、と…。つか淫紋まじドエロくて気に入ったのでまた描きたい題材ですね！！！！まさに禁呪って感じだし！！！！魔法のある世界で良かった！！！！

ゲーム中アンジェラとデュランは最後彼に生きて償えみたいなことを言うけど、彼が死を選ぶのも、彼の中の価値の差なのだろうなあ。そんな人生にはなんの価値もない、みっともなく生き恥を晒すくらいなら…みたいな。だから、アンジェラとデュランならそれでもここで生きようとする方を選べるんじゃないかな、と思う。二人とも(デュランは庶民なので言わずもがな)アンジェラも雪原に放り出された日を経験したからわりと泥臭いことでも乗り越えていける子な気がします。お城を出たあの日から、あの子の本当の人生がはじまったのね…

相変わらず背景にモヤモヤしたトーンを多用しているので印刷に無事に出てるといいんですけど…もし飛んじゃってたら、その白い背景にはうすーいモヤモヤしたトーンが貼ってあったのだと思ってください。

手に取って下さってありがとうございました！！

もも



転売・転載を固く禁じます。
No resale.Reproduction is prohibited.



2022マナ収穫祭開催おめでとうございます～！

(軽く本の話するので本読んでからペーパー読んでね！！)

本が出せるかもわからなかったので無事間に合って良かったです。可愛いアンちゃんいっぱい描いたよわあい
アンちゃんのどの衣装も大好きなのでいつか全制覇したいですねスケベで…！！(ケノ)みんな衣装によってちょっと性格と関係性が変わってくるんですよ～すき！！！！
今回の話で一番の被害者はデュランなんじゃねえの…って今ちょっと思ってます。なんかすまんいつも。アンちゃんを泣かすの大好きなんですけどとりわけデュランはくそっ！！
とかなってるのが似合うというか苦しんでるところを見るのが
こう性癖に突き刺さるというか…ウウツたまねえ



紅蓮くんは逆に本心を顔に出さないの描く
の苦労しました。イケメンむずいよお
でもたまに別の顔が見えたりすると面白いね。
今回いっちゃん得したの絶対紅蓮だと思うw
(ハーハッハッハが聞こえるww)
はてさて敗北したのは一体誰なのでしょう…



▲
▼
Crimson Wizard

▲
▼
Angela

▲
▼
Duran



▲
▼
Crimson Wizard

▲
Angela

▼
Duran